

# 映像と現代音楽研究会

## 研究会の概要

本研究会は、現代音楽が映画、アニメーションなどの大衆文化の中で使用され、その構造的な特徴から離れ、イメージ的に聞かされることに焦点を当てる。現代音楽が映像産業に転用される歴史や受容、とりわけその転用の理論的根拠を中心に、現代音楽及び映像音楽の関係性を探究し、映像および音楽研究の分析、研究能力を向上させることを目的とする。

具体的な内容については、映画音楽および現代音楽についての文献講読およびその発表を通じて議論を行う。月1回のスパンで研究会を実施し、映像音楽および現代音楽の概観を習得するとともに、院生メンバーそれぞれの研究テーマに応じた知識を獲得する。また、ゲスト講師をお招きし、講演会と質疑応答を行い、専門的な知見をいただくことで、メンバーのさらなる研究能力の向上を図る。本研究会の意義は、音楽学、美学、表象文化論といった学際的な視点をもとに「映像」及び「現代音楽」をメディアと音楽の関係性という視点で議論することにある。また、レジュメ制作・報告による発表能力の向上、研究会運営のプロジェクト企画能力の養成、そして第一線の研究者と交流を通して、研究力を全般的に向上するという意義がある。

## 文献講読会

8月3日:第1回

8月下旬~9月上旬:第2回

10月:第3回

11月:第4回

12月:第5回

## 講演会

9月:第1回ゲスト講師講演会

1月:第2回ゲスト講師講演会

## 予定しているゲスト講師

柴田 康太郎 氏 (早稲田大学文学学術院 特別研究員PD)

細馬 宏通 氏 (早稲田大学文学学術院 教授)

## メンバーと専門及び連絡先

《代表》Wang Qinghai (表象領域5回生): 表象文化論、戦時下の音画理論の研究 Mail: gr0453ki@ed.ritsumeai.ac.jp

高畑和輝 (表象領域1回生): 音楽美学、現代音楽における《音楽的時間》や空間性の研究 Mail: so0940fk@ed.ritsumeai.ac.jp

研究会についてのお問い合わせも高畑が請け負っています。

鶴見 亮輔 (表象領域1回生): 音楽学、ジャズピアニストのハービー・ハンコック批評の研究 Mail: gr0583ek@ed.ritsumeai.ac.jp

Wu Zewei (表象領域3回生): 表象文化論、中国のウェブ小説とゲーミフィケーション、80-ゼロ年代のウェブ文化史

Mail: gr0560ee@ed.ritsumeai.ac.jp